

港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター
港区立南麻布地域包括支援センター
指定管理者候補者選考委員会
報 告 書

令和3年7月6日

港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター等
指定管理者候補者選考委員会

目 次

はじめに

I	選考した指定管理者候補者について	2
II	選考経過について	3
III	選考対象者について	5
IV	選考結果について	6
V	最終選考結果について	8

はじめに

本報告書は港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター及び港区立南麻布地域包括支援センターの指定管理者候補者を選考するにあたり、「港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター等指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過及び結果について報告するものです。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等が持つノウハウやアイデア、専門性などを活用することにより、多様化する区民ニーズへの柔軟かつ迅速な対応や効率的で効果的な区民サービスの提供が可能となる施設については、積極的に指定管理者制度の導入を進めるとしています。

「港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター等指定管理者候補者選考委員会」は、このような視点を踏まえた上で、港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター及び港区立南麻布地域包括支援センターの設置目的を最大限に活かし、効率的・効果的に区民サービスを提供することができる候補者の選考を行いました。

審査にあたっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意の下に結論を導き出すよう努めました。

港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター等指定管理者候補者には、1事業者からの応募となりましたが、現状の課題を捉え、かつ、区民サービスの向上に向けた様々な提案を受けることができました。第二次審査では、同一建物のいきいきプラザやシルバー人材センターなど地域の関係機関等との連携により、麻布地区の高齢者拠点として信頼される運営を目指した提案を受けることができ、指定管理者を公募した目的が十分達成されたものと感じています。

応募いただいた事業者に深く感謝するとともに、選ばれた事業者には港区立高齢者在宅サービスセンター条例及び港区立地域包括支援センター条例に定める目的の達成に向け、指定管理者として十二分に力を発揮されることを強く期待いたします。

令和3年7月6日

港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター等
指定管理者候補者選考委員会
委員長 鳥羽美香

I 選考した指定管理者候補者について

1 指定管理者候補者

名称	社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会
代表者	支部長 南 靖武
所在地	東京都港区三田一丁目4番17号

2 対象施設

施設の名称	所在地
港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター 港区立南麻布地域包括支援センター	東京都港区南麻布一丁目5番26号

3 指定期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年）

4 選考の理由

- (1) 港区に法人本部を置き110年の歴史を有し、法人全体を含めると老人福祉施設121か所をはじめ、施設運営実績及び管理運営経験が豊富であり、指定期間中に安定して運営管理を行うことができる経営基盤を有しています。
- (2) 施設の安全対策や危機管理について組織としての強みを活かした提案となっており、災害時の法人としての応援体制や福祉避難所の開設を含めた具体的な取組が示されており、評価できます。
- (3) 同一建物のいきいきプラザやシルバー人材センター、区内企業と連携して地域に根差した施設を目指す提案がされており、地域との積極的な関わりが期待できます。
- (4) 高齢者在宅サービスセンターでは、利用者が活動する場所に見守り職員を配置することで、認知症症状を有する利用者の行動制限をせず、利用者がゆったりと過ごせるよう工夫されている点や家族へのメールでの連絡、オンラインを活用したりリアルタイム中継など、利用者とその家族に配慮された提案となっており、良質なサービス提供が期待できます。
- (5) 地域包括支援センターでは、フレイル予防の相談会などの区民向け講座が充実しており、オンラインツールを活用した相談対応や、専門職による伴走型の支援の提案が評価できます。

Ⅱ 選考経過について

1 選考の方法

(1) 第一次審査

応募法人から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価をもとに総合的な審査を行い、第一次審査通過者として1事業者を選考しました。

(2) 第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、(第一次審査と第二次審査とを合わせた)総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

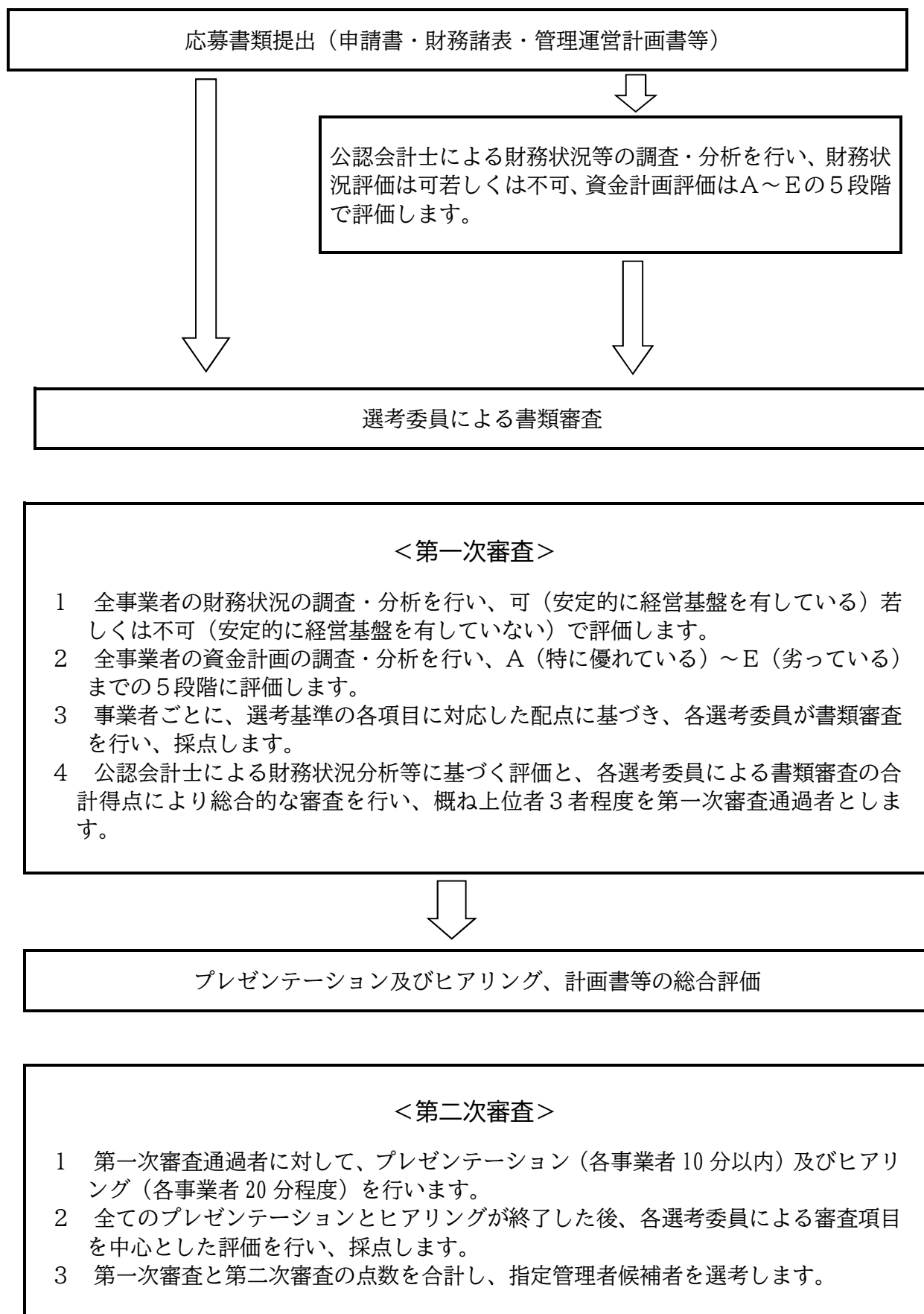
2 選考委員会の構成

委員長	鳥羽美香	文京学院大学 人間学部 教授
副委員長	有賀謙二	港区保健福祉支援部長
委員	柴崎祐美	法政大学 現代福祉学部 助教
//	高橋明美	明星大学 人文学部 非常勤講師
//	松浦恵理子	特定非営利活動法人 市民シンクタンクひと・まち社 事務局長
//	野上宏	港区保健福祉支援部 保健福祉課長
//	重富敦	港区保健福祉支援部 介護保険課長

3 公認会計士

辰巳尚	合同会社たつみ会計事務所
-----	--------------

4 選考の進め方



5 選考委員会等の開催状況及び経過

(1) 第1回選考委員会

日 時 令和3年4月8日(木曜日) 午後6時～午後8時30分
場 所 港区役所 915 会議室(テレビ会議)
議 題 公募要項(案)について
指定管理者候補者の選考基準(案)及び選考方法について

(2) 公募手続き

ア 公募要項説明会 令和3年4月27日(火曜日)
イ 申請受付(第一次提出) 4月15日(木曜日)～5月14日(金曜日)
ウ 質問書受付 4月19日(月曜日)～5月6日(木曜日)
エ 質問への回答 5月13日(木曜日)
オ 計画書類等受付(第二次提出) 4月15日(木曜日)～5月28日(金曜日)

(3) 第2回選考委員会(第一次審査)

日 時 令和3年6月22日(火曜日) 午後7時15分～午後7時55分
場 所 港区役所 911 会議室(テレビ会議)
議 題 第一次審査通過事業者の決定について
第二次審査について(プレゼンテーションについて)

(4) 第3回選考委員会(第二次審査)

日 時 令和3年7月6日(火曜日) 午後3時～午後4時
場 所 港区役所 911 会議室
議 題 第二次審査(第一次審査通過事業者によるプレゼンテーション及びヒアリング)
第二次審査採点及び指定管理者候補者の選考について

Ⅲ 選考対象者について

No	事業者の名称	所在地
1	社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会	東京都港区三田一丁目4番17号

IV 選考結果について

1 第一次審査

(1) 財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

ア 財務状況評価

法人より提出された財務諸表（決算報告）を基に、財務規模、収益性、安全性について、数値及び比率分析等により、安定的に継続して指定管理業務を行うことができるか否かを、可若しくは不可の絶対評価を行いました。

イ 資金計画評価

法人より提出された資金計画書を基に、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、運転資金調達の実現性、事業計画との整合性、経費見積りの妥当性などについて数値及び比率分析により、A～Eの5段階総合評価を行いました。

(2) 選考基準表に基づく採点

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計による選考を実施しました。

順位	事業者の名称	財務状況 評価	資金計画 評価	合計点数 (1,540点満点)
1	社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会	可	B	1,182点

※ 財務状況評価基準

可（安定的に経営基盤を有している）、不可（安定的に経営基盤を有していない）

※ 資金計画評価基準

A：特に優れている、B：優れている、C：普通、D：やや劣っている、E：劣っている

(3) 選考経過

各委員が候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
社会福祉法人 恩賜財団済生会支 部東京都済生会	<ul style="list-style-type: none">・通所介護利用者が活動する場所に見守り職員を配置することで、認知症症状を有する利用者の行動制限をせず、利用者がゆったりと過ごせるよう工夫されている点が良い。・地域包括支援センターでの利用者や家族への支援など、多彩な取り組みや認知症疾患医療センターとの連携が期待できる。・同一建物のいきいきプラザやシルバー人材センター、区内企業と連携して地域に根差した施設を目指す視点が良い。

以上の点を総合的に勘案して、応募1事業者を第一次審査通過者としました。

2 第二次審査

(1) プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過1事業者が10分のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容に基づき20分のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

(2)採点結果

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計と第一次審査の合計点を合算した総合点数をもとに順位付けしました。

順位	事業者の名称	総合点数 (2,240点満点)	第一次審査点数 (1,540点満点)	第二次審査点数 (700点満点)
1	社会福祉法人 恩賜財団済生会支 部東京都済生会	1,737点	1,182点	555点

(3) 選考経過

各委員が第一次審査通過1事業者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
社会福祉法人 恩賜財団済生会支 部東京都済生会	・ 8050 問題などの複合化する課題の対応や介護予防の考え方について、区と同じ方向を向いた取組が期待できる。 ・ 地域の中での施設の役割については独自性があり、安定的に事業運営ができる。

V 最終選考結果について

最終選考結果

選考委員会の総意として、「社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会」を港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター等指定管理者候補者として選考します。